

第4節 結核・感染症対策

1 結核予防

(1) 結核罹患状況

わが国の結核状況は、新登録患者数が年々減少しており、令和3年には初めて低まん延国の水準となった。しかし、依然としてわが国最大の感染症の一つである。

令和5年の管内の新登録患者数(表1)は19人で、昨年と同値であり、罹患率は8.7と昨年(8.6)に比べ増加した。感染の危険性が高い喀痰塗抹陽性肺結核患者数は8人で昨年に比べ1人減少し、喀痰塗抹陽性肺結核罹患率も3.6と昨年(4.1)と比較し減少した。新登録患者に占める割合は、42.1%と昨年と比較し減少している。

令和5年12月末における管内での登録者数(表2)は33人で昨年より2人減少し、登録率は15.0で、石川県(13.3)を上回った。活動性結核患者は17人で、

有病率は7.7で昨年(5.0)と比べ増加した。

新登録患者の年齢階層別では(表3-1)では70歳以上が14人と全体の73.7%を占め、性別で見ると(表3-2)男性が13人で罹患率が12.1、女性が6人で罹患率が5.3と男性が多かった。新登録患者の発見方法別内訳(表3-3)では、医療機関受診が15人で全体の78.9%を占め、その他 定期健康診断が4人(21.1%)であった。

潜在性結核感染症に該当する者の届出は(表3-3)6人で、昨年(4人)と比較して増加している。発見方法別で見ると、健康診断が4人となっており全体の66.7%を占めている。

表1 新登録結核患者数、罹患率の年次推移 (単位、患者数：人、罹患率：人口10万対)

		R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
南加賀管内	新登録結核患者数	32	19	26	19	19
	全結核罹患率 罹患率	14.1	8.5	11.7	8.6	8.7
	菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数	11	7	15	9	8
	喀痰塗抹陽性肺結核 罹患率	4.9	3.1	6.7	4.1	3.6
	新登録結核患者に占める割合	34.4%	36.8%	57.7%	47.4%	42.1%
石川県	新登録結核患者数	100	99	97	79	70
	全結核罹患率 罹患率	8.8	8.7	8.6	7.1	6.3
	菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数	37	30	39	31	23
	喀痰塗抹陽性肺結核 罹患率	3.3	2.6	3.5	2.8	2.1
	新登録結核患者に占める割合	37.0%	30.3%	40.2%	39.2%	32.9%
全国	新登録結核患者数	14,460	12,739	11,519	10,235	10,096
	全結核罹患率 罹患率	11.5	10.1	9.2	8.2	8.1
	菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数	5,231	4,615	4,127	3,703	3,524
	喀痰塗抹陽性肺結核 罹患率	4.1	3.7	3.3	3.0	2.8
	新登録結核患者に占める割合	36.2%	36.2%	35.8%	36.2%	34.9%

表2 結核登録者数・登録率、有病者数・有病率の年次推移 (単位：人)

		R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
南加賀管内	結核登録者数	61	42	39	35	33
	登録率(人口10万対)	27.0	18.7	17.5	15.8	15.0
	活動性結核患者数	12	12	13	11	17
	有病率(人口10万対)	5.3	5.4	5.8	5.0	7.7
石川県	結核登録者数	225	187	176	169	148
	登録率(人口10万対)	19.8	16.5	15.6	15.1	13.3
	活動性結核患者数	59	61	61	45	49
	有病率(人口10万対)	5.2	5.4	5.4	4.0	4.4
全国	結核登録者数	34,523	31,551	27,754	24,555	22,426
	登録率(人口10万対)	27.4	25.0	22.1	19.7	18.0
	活動性結核患者数	9,695	8,640	7,744	6,782	6,794
	有病率(人口10万対)	7.7	6.8	6.2	5.4	5.5

表 3-1 新登録患者数（活動性分類・年齢級別）（単位：人）

令和5年1月1日～令和5年12月31日

	新登録患者総数	活動性結核							罹患率 (人口10万対)	潜在性結核感染症(別掲)治療中
		総数	肺結核活動性			その他の結核菌陽性	菌陰性その他	肺外結核活動性		
			総数	初回治療	再治療					
総数	19	15	8	7	1	6	1	4	8.7	6
年齢級別	0～4	-	-	-	-	-	-	-	0.0	-
	5～9	-	-	-	-	-	-	-	0.0	-
	10～14	-	-	-	-	-	-	-	0.0	-
	15～19	-	-	-	-	-	-	-	0.0	-
	20～29	2	2	1	1	-	1	-	10.2	1
	30～39	2	2	1	-	1	1	-	9.5	-
	40～49	-	-	-	-	-	-	-	0.0	1
	50～59	1	1	-	-	-	-	1	3.2	1
	60～69	-	-	-	-	-	-	-	0.0	1
	70～79	4	3	-	-	-	3	-	13.0	2
80～89	7	4	3	3	-	1	-	38.7	-	
90以上	3	3	3	3	-	-	-	54.9	-	
40歳以上の比率	78.9%	73.3%	75.0%	85.7%	0.0%	66.7%	100.0%	100.0%		83.3%
70歳以上の比率	73.7%	66.7%	75.0%	85.7%	0.0%	66.7%	0.0%	100.0%		33.3%

表 3-2 新登録患者数（活動性分類・性別・市町別）（単位：人）

令和5年1月1日～令和5年12月31日

	新登録患者総数	活動性結核							罹患率 (人口10万対)	潜在性結核感染症(別掲)治療中
		総数	肺結核活動性			その他の結核菌陽性	菌陰性その他	肺外結核活動性		
			総数	初回治療	再治療					
総数	19	15	8	7	1	6	1	4	8.7	6
性別	男	13	12	6	5	1	5	1	12.1	4
	女	6	3	2	2	-	1	-	5.3	2
市町別	小松市	5	5	1	1	-	4	-	4.8	5
	加賀市	9	5	4	4	-	1	-	14.9	-
	能美市	5	5	3	2	1	1	1	10.4	1
	川北町	-	-	-	-	-	-	-	0.0	-

表 3-3 新登録患者数（発見方法別）（単位：人）

令和5年1月1日～令和5年12月31日

	新登録患者総数	活動性結核							構成比 (%)	潜在性結核感染症(別掲)治療中
		総数	肺結核活動性			その他の結核菌陽性	菌陰性その他	肺外結核活動性		
			総数	初回治療	再治療					
総数	19	15	8	7	1	6	1	4	100.0%	6
健康診断	4	4	1	-	1	2	1	-	21.1%	4
個別健康診断	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	-
定期健康診断	4	4	1	-	1	2	1	-	21.1%	1
学校健診	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	-
住民健診	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	-
職場健診	4	4	1	-	1	2	1	-	21.1%	1
施設健診	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	-
接触者健康診断	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	3
家族健診	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	3
医療機関受診	15	11	7	7	-	4	-	4	78.9%	2
受診	12	8	6	6	-	2	-	4	63.2%	-
他疾患入院中	1	1	1	1	-	-	-	-	5.3%	-
他疾患通院中	2	2	-	-	-	2	-	-	10.5%	2
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	-

表 4-1 結核登録者数（活動性分類・年齢階級別）（単位：人）

令和 5 年 12 月 31 日現在

	登録者 総数	活動性結核										潜在性 結核 感染症 (別掲)		
		総数	肺結核活動性							肺外 結核 活動性	不活動性 結核			活動性 不明
			総数	登録時喀痰塗抹陽性			登録時 他の 結核 菌陽性	登録時 菌陰性 その他						
				総数	初回 治療	再治療								
総数	33	17	12	6	5	1	5	1	5	16	-	3	16	
年齢階級別	0～4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5～9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	10～14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	15～19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20～29	2	2	2	1	1	-	1	-	-	-	-	1	1
	30～39	2	1	1	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-
	40～49	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
	50～59	1	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2
	60～69	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2
	70～79	7	5	3	-	-	-	3	-	2	2	-	1	6
	80～89	13	5	2	1	1	-	1	-	3	8	-	-	4
90以上	5	3	3	3	3	-	-	-	-	2	-	-	-	
40歳以上の比率	87.9%	82.4%	75.0%	66.7%	80.0%	0.0%	80.0%	100.0%	100.0%	93.8%	0.0%	66.7%	93.8%	
70歳以上の比率	75.8%	76.5%	66.7%	66.7%	80.0%	0.0%	80.0%	0.0%	100.0%	75.0%	0.0%	33.3%	62.5%	

表 4-2 結核登録者数（活動性分類・性別・市町別）（単位：人）

令和 5 年 12 月 31 日現在

	登録者 総数	活動性結核										潜在性 結核 感染症 (別掲)		
		総数	肺結核活動性							肺外 結核 活動性	不活動性 結核			活動性 不明
			総数	登録時喀痰塗抹陽性			登録時 他の 結核 菌陽性	登録時 菌陰性 その他						
				総数	初回 治療	再治療								
総数	33	17	12	6	5	1	5	1	5	16	-	3	16	
性別	男	20	12	9	4	3	1	4	1	3	8	-	2	5
	女	13	5	3	2	2	-	1	-	2	8	-	1	11
市町別	小松市	14	7	5	1	1	-	4	-	2	7	-	2	7
	加賀市	12	6	3	3	3	-	-	-	3	6	-	-	6
	能美市	7	4	4	2	1	1	1	1	-	3	-	1	3
	川北町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表 5 結核死亡数及び死亡率の年次推移

(単位、死亡数：人、死亡率：人口 10 万対)

		R 元年	R2 年	R3 年	R4 年	R5 年
南加賀管内	死亡数	1	1	4	1	1
	死亡率	0.4	0.4	1.8	0.5	0.5
石川県	死亡数	8	15	16	18	10
	死亡率	0.7	1.3	1.4	1.6	0.9
全国	死亡数	2,088	1,909	1,845	1,664	1,587
	死亡率	1.7	1.5	1.5	1.4	1.3

(2) 結核患者管理状況

保健所では感染症法に基づき結核患者及び結核回復者について登録管理をしている（表6）。

登録中の患者に対しては、保健師等の家庭訪問により患者の治療支援や相談、積極的疫学調査や接触者健康診断の連絡調整などで面接や相談を実施している（表7）。治療終了者や治療中断者に対して、再

発の有無の検査として精密検査（管理検診）を実施している（表8）。

さらに、市町や学校長、施設長や事業者等に対する結核定期健康診断の把握（表9）を通して、実施徹底にかかる指導を行い、結核患者の家族及び接触者に対しては接触者健康診断を実施している（表10）。

表6 結核登録状況（単位：人）

令和5年1月1日～令和5年12月31日

	前年末 総数 (A)	本年中登録			本年中抹消					本年末 総数 (A+B-C)
		新規	転入	計 (B)	死亡	治療 観察不要	転出	その他	計 (C)	
合計	57	25	-	25	8	19	3	-	30	52
結核患者	35	19	-	19	8	10	3	-	21	33
潜在性結核感染症	22	6	-	6	-	9	-	-	9	19

表7 保健指導実施状況（単位：件数）

令和5年度

訪 問		来 所 相 談		電 話 相 談	
実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
22	59	17	38		991

表8 管理検診実施状況（単位：人）

令和5年度

対象者 (A)	保健所	受 診 者 数						検 診 結 果			
		委託医療機関		定期 病状 報告	他の医 療機関 等	計 (B)	受診率 (B/A)%	要医療	要観察	観 察 不 要	
		内 訳	内 訳								
69	-	51	直接 撮影	4	18	-	69	100%	-	37	32

表9 結核定期健康診断の状況

令和5年度

	対象者数	受 診 者 数				検 診 結 果	
		受診者数	受診率%	検 査 内 容		患者発見数	発病の恐れのある者
				間接撮影	直接撮影		
合計	83,371	28,352	31.6%	-	28,352	-	1
事業主	11,463	10,979	95.8%	-	10,979	-	-
学校長	2,563	2,497	97.4%	-	2,497	-	-
施設長	1,837	1,776	96.6%	-	1,776	-	-
市町長	67,508	11,100	16.4%	-	11,100	-	1

※結核健康診断報告書が予防接種法施行規則の一部改正（平成25年4月1日施行）により、「結核に係る予防接種を受けた者の数に関する1月ごとの市町村長の報告」が廃止されたことに伴い、予防接種の報告欄が削除された。

表10 接触者健康診断実施状況（単位：人）

令和5年度

	対象者 (A)	受 診 者 数										検 診 結 果			
		保健所実施		委託医療機関実施分						集団健診分		計 (B)	受診率 (B/A) %	発見 患者 数	発病 の恐 れの ある 者
		内訳	IGRA	内 訳				内訳	直接 撮影						
				ツ反	直接 撮影	喀痰	IGRA								
合計	173	136	136	25	-	14	-	11	12	12	173	100.0%	-	7	
患者家族	42	22	22	20	-	9	-	11	-	-	42	100.0%	-	2	
その他	131	114	114	5	-	5	-	-	12	12	131	100.0%	-	5	

事業者研修会	<p>対 象：理容生活衛生同業組合に所属する加賀支部組合員 実施日：令和5年11月27日（月） 9：30～10：00 内 容： 1) 講話：「理容業・美容業における感染症対策」 講師：南加賀保健所職員 参加者：45名</p>
結核対策研修会	<p>対 象：医療機関等における医師及び医療関係者 実施日：令和6年1月25日（木） 19：00～21：00 内 容： 1) 講話：「南加賀保健所管内の結核患者の現状と課題」 担当：南加賀保健所職員 2) 講演：「日常診療における、結核と非結核性抗酸菌症の治療のトピックス」 講師：国立病院機構近畿中央呼吸器センター 臨床研究センター 感染症研究部長 露口 一成 先生 震災のため急遽中止</p>
治療成功のための支援事業	<p>コホート検討会（年2回）：診査会終了後に開催 実施日：令和5年6月14日（水） 10件 令和6年2月14日（水） 9件 内 容：菌陽性肺結核患者の治療成績の判定および評価 検討対象：新登録の肺結核新登録患者（菌陽性）の内、治療終了者19名 参加者：感染症診査協議会委員、保健所長、保健所担当者</p> <p>DOTSカンファレンス（7件開催） 実施日：7/31,8/8,12/28,1/17,1/23,1/26,2/16 会 場：県内医療機関 対 象：塗抹陽性肺結核患者及び主治医が服薬支援を必要と認めた患者（退院時に病棟から連絡、転院時に保健所から連絡） 参加者：本人、家族、病院主治医、担当看護師、薬剤師、地域医療連携室等 保健所保健師、服薬支援者（ケアマネージャー等）</p>

2 感染症予防

(1) 感染症発生状況

感染症発生動向調査

感染症の蔓延を防止するため、医療機関の協力のもと、患者の発生状況や病原体検出結果等の流行実態を早期かつ的確に把握し、情報を速やかに地域に還元することにより、有効かつ適切な予防対策の確立に資することを目的として、通年実施している。

感染症予防相談状況では、延べ5,224件の相談に対応しており、相談内容としては、新型コロナウイルス感染症・結核が多くを占めている状況であった。

新型コロナウイルス感染症については、令和2年2月に指定感染症に指定され、令和3年2月には、指定感染症から新型インフルエンザ等感染症に変更された。また、令和5年5月8日には、5類感染症に位置づけられ、全数把握から定点把握となった。そこから相談件数も減少傾向となった。その他の感染症については、昨年度と比べて集団発生数が増加傾向にあった。

表 11-1 感染症発生状況（全数把握）

（単位：人）

		R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
一類（全7疾患）		0	0	0	0	0
二類（全7疾患）	結核（潜在性結核感染症含む）	51	27	37	22	25
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0
三類（全5疾患）	コレラ	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	6	4	10	9	9
四類（全44疾患）	A型肝炎	0	0	1	1	1
	重症熱血小板減少性症候群（SFTS）	0	0	0	0	0
	つつが虫病	1	0	0	0	0
	デング熱	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	6	4	6	12	12
五類（全24疾患）	アメーバ赤痢	1	3	0	0	0
	ウイルス性肝炎	2	0	0	0	0
	カパベネ耐性腸内細菌科細菌感染症	2	2	3	5	4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	1	3	1	0
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0
	急性脳炎	0	0	0	0	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	1	6	0	4
	水痘（入院例）	1	1	0	1	4
	梅毒	2	3	4	5	9
	播種性クリプトコックス症	0	1	0	1	0
	百日咳	120	10	7	4	3
	風しん	0	0	0	0	0
	麻しん	0	0	0	0	0
	急性弛緩性麻痺	1	1	0	2	0

（感染症発生動向調査より）

表 11-2 感染症予防相談状況 (延件数)

令和5年度

		訪問相談		来所相談		電話相談		
		実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	
感染症総数		44	90	217	250	755	4,974	
(内訳)	一類感染症	0	—	0	—	0	—	
	二類感染症 (結核)	22	59	17	38	/	991	
	三類感染症	4	5	6	17	9	90	
	(内訳)	腸管出血性大腸菌感染症	4	5	6	17	9	90
	四類感染症	3	11	0	—	9	68	
	五類感染症 (全数報告のみ)	1	1	107	107	15	26	
	その他	14	14	87	88	/	3,799	
(内訳)	感染性胃腸炎 (ノロウイルス含む)	/	3	/	0	/	147	
	インフルエンザ	/	0	/	0	/	517	
	予防接種	/	0	/	0	/	6	
	新型コロナウイルス感染症※	/	2	/	/	/	912	
	上記以外 (HIV、性感染症、肝炎など)	/	0	/	332	/	10	

※概算値

表12 感染症発生動向調査月別患者報告数

令和5年 (単位:人)

定点	疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
	COVID-19	管内	0	0	0	0	126	227	334	1,036	703	270	102	188	2,986
		県内	0	0	0	0	809	1,234	2,320	5,830	3,879	1,510	525	1,005	17,112
	インフルエンザ	管内	275	1,144	891	123	11	0	8	25	61	234	621	1,240	4,633
		県内	2,107	7,584	4,063	503	70	15	44	150	384	988	3,510	6,705	26,123
小児科	RSウイルス感染症	管内	5	0	1	27	56	79	62	45	19	10	0	0	304
		県内	37	115	70	73	202	236	315	252	53	27	1	1	1,382
	咽頭結膜熱	管内	10	4	4	7	6	9	10	7	8	45	66	127	303
		県内	26	13	33	28	46	64	39	32	41	233	420	692	1,667
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	管内	0	5	2	2	8	19	14	10	18	14	96	194	382
		県内	26	25	53	57	88	115	59	80	136	266	542	808	2,255
	感染性胃腸炎	管内	411	350	165	305	252	206	175	228	200	274	202	358	3,126
		県内	1,290	1,228	911	1,319	1,252	763	605	684	548	702	624	1,137	11,063
	水痘	管内	4	0	3	0	1	0	7	3	0	6	0	6	30
		県内	9	12	12	7	9	8	19	14	6	11	10	25	142
	手足口病	管内	21	15	9	14	22	37	101	155	37	16	2	14	443
		県内	54	18	15	22	70	60	170	273	198	116	103	77	1,176
	伝染性紅斑	管内	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	4
		県内	1	0	0	0	1	4	1	0	3	3	4	5	22
	突発性発疹	管内	9	5	6	4	5	11	10	6	3	2	4	2	67
		県内	34	24	28	30	52	41	36	37	29	27	35	22	395
ヘルパンギーナ	管内	0	1	0	2	34	112	114	65	17	3	1	0	349	
	県内	2	3	0	28	246	457	530	311	98	32	7	5	1,719	
流行性耳下腺炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
	県内	4	1	4	3	7	15	5	5	3	3	1	1	52	
眼科	急性出血性結膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
		県内	0	0	1	0	0	0	2	2	0	3	1	4	13
	流行性角結膜炎	管内	0	0	0	1	0	0	1	0	0	5	3	12	22
		県内	16	13	7	7	11	17	10	18	15	44	33	123	314
基幹	細菌性髄膜炎 (真菌性を含む)	管内	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		県内	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	無菌性髄膜炎	管内	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3
		県内	0	0	1	1	2	2	0	0	1	0	0	0	7
	マイコプラズマ肺炎	管内	1	3	0	3	1	1	0	1	2	0	0	4	16
		県内	1	3	0	3	1	1	0	1	2	0	0	4	16
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県内	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	

感染症発生動向調査月別患者報告数

令和5年 (単位:人)

疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
性器クラミジア感染症	管内	4	1	3	0	0	4	0	0	0	0	2	4	18
	県内	55	50	42	44	47	45	57	56	42	39	55	39	571
性器ヘルペスウイルス感染症	管内	1	2	3	5	6	4	3	5	5	7	5	7	53
	県内	15	7	8	11	14	11	7	10	6	11	13	9	122
尖形コンジローム	管内	3	3	4	6	3	4	3	5	6	6	5	5	53
	県内	9	9	10	6	11	10	11	8	11	10	10	11	116
淋菌感染症	管内	1	0	0	0	1	1	1	1	0	2	0	1	8
	県内	12	8	8	10	11	6	15	10	18	11	12	11	132
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	管内	10	5	5	5	10	5	11	4	9	9	6	12	91
	県内	15	10	13	12	11	10	16	19	13	15	9	13	156
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県内	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
薬剤耐性緑膿菌感染症	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) インフルエンザ様集団かぜ発生状況

(表 14-1、14-2)

令和5年度冬季の発生状況として、県内初発が9月4日報告の金沢市、白山市、小松市の高等学校、小学校であり、終息は3月18日報告の小松市串小学校であった。

県内・管内共に例年より早期に患者発生を認めた。感染症発生動向調査における警報及び注意報の発令等については、令和5年 第36週(9/4~9/10)に流行入り。令和5年 第44週

(10/30~11/5)には報告数が10.98人となり、インフルエンザ注意報発令。第47週(11/20~11/26)には報告数が30.27人となり、インフルエンザ警報発令。第49週(12/4~12/10)をピークに、その後、増減を繰り返し、令和6年5月8日をもって非流行期となった。

ウイルス分離・検出状況では、A香港型とAH1pdm09が混在している状況であった。

表14-1 市町別インフルエンザ様集団かぜ 初発発生状況(令和5年度)

区 分	石川県	管内計	小松市	加賀市	能美市	川北町
施設数		95	49	30	12	4
発生施設数	221	64	31	20	10	3
在籍数(人)	12,219	1,789	848	503	370	68
患者数(人)	4,429	526	136	224	134	32
措置状況	休校	10	2	0	1	0
	学年閉鎖	106	16	6	7	2
	学級閉鎖	105	47	25	13	1

注：在籍者及び患者数は、措置を取ったクラス等の初発報告の累計
注：同一施設で措置が変更した場合は、休校・学年閉鎖・学級閉鎖・授業打ち切りの措置規模の大きい方をカウントしてある。

表14-2 感染症発生動向調査月別患者報告数

令和5年度(単位:人)

定点	疾患名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
インフルエンザ		管内	123	11	0	8	25	61	234	621	1,240	523	893	857	4,596
		県内	503	70	15	44	150	384	988	3,510	6,705	2,266	4,077	6,556	25,268

(3) エイズ相談状況 (表 15-1、表 15-2)

エイズに対する正しい知識の普及及び感染者の早期発見・早期治療を目的に、エイズ相談窓口を設け、検査を希望する場合はHIV抗体検査を実施している。平成17年12月からエイズ予防対策をより一層推進するため、HIV迅速検査免疫クロマト法を導入した。平成21年度は受検者の利便性を考慮し、午前中及び夜間の検査について、予約なしで迅速検査を行った。平成22年3月からは、午

前中のみ迅速検査を行い、夜間はPA法とし、全て予約制とした。平成27年度からは、夜間もIC法となった。

HIV検査普及週間及び世界エイズデーでは、受検者の増加を図るため、各市町の広報や当所のホームページに検査案内を掲載、所内ではポケットティッシュを配布し、普及啓発を行った。

表 15-1 エイズ相談状況

令和5年度 (単位: 件)

	相談件数			相談内容				相談方法		
	男	女	計	相談のみ	病院紹介	検査依頼	計	来所	電話	計
昼間	40	9	49	2	0	47	49	48	1	49
夜間	36	8	44	0	0	44	44	44	0	44
合計	76	17	93	2	0	91	93	92	1	93

表 15-2 HIV抗体検査状況

令和4年度 (単位: 件)

	受検者数			陽性者数			(再掲)迅速法による検査		
	男	女	計	男	女	計	受検者	要追加検査数	陽性者数
10歳代	1	1	2	0	0	0	1		
20歳代	19	10	29	0	0	0	8		
30歳代	31	2	33	0	0	0	1		
40歳代	13	2	15	0	0	0	6		
50歳以上	11	1	12	0	0	0	5		
合計	75	16	91	0	0	0	21		
(再掲)夜間			44			0			

(4) 性感染症相談状況 (表 16-1、表 16-2、表 16-3)

性感染症に対する正しい知識の普及及び感染者の早期発見・早期治療を目的に、性感染症相談窓口を設け、検査を希望する場合は、クラミジア及び梅毒検査を実施している。平成26年4月から、クラミジア検査が血液検査から抗原検査である尿

検査に変更され、陽性者に対しては紹介状を発行し、医療機関への受診を促す。また同時に医療機関への依頼書を渡す。医療機関からは結果書が返送される。判定不能者には再検査を実施した。

表 16-1 性感染症相談検査実施状況

令和5年度 (単位: 件)

	相談件数	梅毒血液検査				性器クラミジア感染症尿検査			
		計	陽性	陰性	判定不能	計	陽性	陰性	判定不能
男	83	79	2	77	0	70	3	67	0
女	17	17	0	17	0	13	0	13	0
計	100	96	2	94	0	83	3	80	0

表 16-2 クラミジア検査件数（性別・年齢別）

令和 5 年度（単位：件）

	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
男	70	-	20	27	13	7	3
女	13	-	9	2	2	-	-
計	83	-	29	29	15	7	3

表 16-3 梅毒検査件数（性別・年齢別）

令和 5 年度（単位：件）

	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
男	79	-	20	32	13	8	6
女	17	1	11	3	2	-	-
計	96	1	31	35	15	8	6

(5) 肝炎ウイルス相談状況（表 17）

肝炎ウイルスに対する正しい知識の普及及び感染者の早期発見・早期治療を目的に、肝炎ウイルス

相談窓口を設け、検査を希望する場合は肝炎ウイルス検査を実施している。

表 17 肝炎ウイルス相談検査状況

令和 5 年度（単位：件）

	計	HCV 抗体の検出	H C V 抗体検査					HBs 抗原検査			相談件数
		陰性	陰性	中力価及び低力価		高力価	計	陰性	陽性		
				HCV 抗原検査							
				陰性	陽性						
HCV-RNA	HCV-RNA	陽性	計	陰性	陽性						
陰性	陽性										
男	47	1	46	-	-	-	-	47	47	-	69
女	14	-	14	-	-	-	-	14	14	-	
計	61	1	60	-	-	-	-	61	61	-	

(6) 肝炎ウイルス検査状況（表 18）

県民の肝炎ウイルス検査の受検機会を拡大し、肝炎の早期発見、治療の推進を図ることを目的と

し、肝炎ウイルス検査を医療機関においても実施している。

表 18 肝炎ウイルス検査状況

令和 5 年度（単位：件）

計	HCV 抗体の検出 または HCV 抗体検査	H C V 抗体検査			HBs 抗原検査		
	陰性	中力価及び低力価		高力価	計	陰性	陽性
		HCV 核酸増幅検査					
		陰性	陽性				
陰性	陽性	陽性	計	陰性	陽性		
404	335	69	0	0	404	403	1

(7) 肝炎対策推進事業

肝炎ウイルス感染者フォローアップ事業

(ア) 目的

肝炎は、国内最大級の感染症であり、感染を放置すると肝硬変や肝がんといった重篤な病態に進行するとともに、ウイルスを通じた感染リスクがある。そのため、診断後間もない肝炎ウイルス感染者や治療中の方及び家族等に対して、肝炎についての正しい知識や治療方法に関する最新知見を学ぶための講演会・相談会を開催することにより、患者等が自分の病態を正しく認識し、長期間にわたる経過観察や治療を継続して行えるよう支援する。

(イ) 開催日・会場

令和5年10月13日(金) 14:30～16:30
石川県南加賀保健福祉センター

(ウ) 参加者

平成14年度から令和5年度の市町の肝炎ウイルス検診で感染者と確認された者等
講演会 6名、個別相談 3名

(エ) 内容

【講演会】

「B型肝炎・C型肝炎の最新の治療」

講師：金沢大学保健管理センター
助教授 島上 哲朗 氏

【個別相談】

助言者：金沢大学保健管理センター
助教授 島上 哲朗 氏

(根拠法令：肝炎対策基本法 第17条)

(8) 「世界エイズデー」に係る普及啓発事業

(ア) 目的

性に関する意思決定や行動選択に係る能力の形成過程にある青少年の性に関する正しい知識を普及するとともに、青少年の性行動の背景にある心の問題（寂しさや自己肯定感の低さ等）に、青少年に関わる関係者が適切に対処できるよう研修することにより、青少年の生きる力を育成することに寄与する。

(イ) 開催日・会場

令和5年11月2日(木) 14:00～16:00
石川県南加賀保健福祉センター
(オンライン開催)

(ウ) 参加者

管内の小・高校・特別支援等の養護教諭
助産師、市町職員、保健所職員 35名

(エ) 内容

【報告】

「南加賀保健福祉センターにおける性感染症検査の状況」

報告：南加賀保健福祉センター
健康推進課 仲泉 優 主任技師

【講話】

「暴力・若年妊娠・貧困の連鎖を止める」

講師：女性クリニック We!TOYAMA
代表・産婦人科医 稲部 恭子 氏